

付録 15.1

日本救急医学会関東地方会における院外心肺停止患者に対する
連結不可能匿名化を用いた多施設前向き観察研究 (SOS-KANTO 2017)

および本研究に関するオプトアウトについて

本研究は院外心肺停止患者に関する救急医療体制および病院到着前後の治療の質を評価することにより、地域の救命救急医療の質を高めることを目的とし、当院に搬送された患者情報を登録し、解析しています。本研究では患者様の診療情報のみを用いて行う研究であり、国が定めた倫理指針に基づき対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることは行っておりません。しかし、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を通知又は公開し、さらに可能な限り拒否の機会を保障することが必要とされています。このような手法を「オプトアウト」といいます。もし、研究のために自分のデータが使用されることを望まれない方は、各施設の研究担当者までお知らせください。なお、登録、解析にあたり、各診療情報は匿名化した匿名加工情報（非識別加工情報）に変換され、個人情報保護は保護されます（ひとつひとつのデータから個人を特定することはできません）

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

施設研究責任者 独立行政法人国立病院機構水戸医療センター 堤 悠介

研究代表者 君津中央病院救命医救急センター 北村伸哉